



# 地区のよりどころをご紹介

「出張!どこでもえんがわ」が始まっています

ここ3・4年くらい新型コロナウイルス感染症により行動制限が実施され、地域の住民の方からも家に一人だけで、「テレビを見ているだけで誰ともしゃべらない」「コロナが怖くてあまり外に出歩かない」という声をお聞きしていました。

こうした中、今年に入り3月にはマスク着用の見直しが行われるなど、コロナ対策の緩和がされ日常生活が少しずつ戻ってきましたが、まだ以前のように戻るにはもう少し時間がかかりそうです。

そこで、より身近な町会の公園や団地の空きスペースに地域の皆さんが集まる機会を設け、私たち職員が出向きお話をうかがえたらなと考えました。



地区支援企画会議で相談し、社会福祉協議会が所有している「えんがわ」の替わりとなるベンチを使って、町会に出向くことです。1回目は、4月7日に地域づくりセンター長、地域包括支援センター職員、地区担当保健師、社会福祉協議会地区担当職

員、地区生活支援員で芳野町にお邪魔させていただきました。芳野町の公園で桜を見ながら行おうと思いましたが、今年桜の開花が早くそしてあいにくのため、公民館の軒下での実施です。当日は、食品移動販売車の戸部商店も来ていただいて、みんなでわきあいあいとお話と買い物を楽しみました。

2回目は、南松本1丁目町会のサロンに皆でお邪魔させていただきました。町会の皆さんとお茶を飲みながら、不安なこと、相談したいこと等のお話をお聞きし、普段ひろば事業等でお会いできない方ともお会いし、楽しい時間を過ごさせていただきました。

地区の皆さんも市の地区担当職員等と顔見知りになり、お互いに話しやすい地区になればいいと思います。

今年度から始まった事業ですが、9町会中2町会にお邪魔させていただきました。今後も他の町会に出向きたいと思っております、その際はよろしくお願ひします。

(地区生活支援員 新田 洋子)



員、地区生活支援員で芳野町にお邪魔させていただきました。芳野町の公園で桜を見ながら行おうと思いましたが、今年桜の開花が早くそしてあいにくのため、公民館の軒下での実施です。当日は、食品移動販売車の戸部商店も来ていただいて、みんなでわきあいあいとお話と買い物を楽しみました。

芳野町のサロンを始めて今年で9年目に入ります。建て替えられた公民館が完成して、住民の皆様から居場所作りができないかとの声が町会にあり、民生委員を含め検討をさせていただき、他町会の状況を調べて茶話会を始めました。

最初は手さぐりで茶話会に使用する物の購入や歌詞集を作成して準備をしました。始める前に民生委員・健康づくり推進員等でサロンで何をしたら楽しんでいただけるか考えて始めました。

体力サポーターに協力を依頼して、ストレッチに始まり、歌詞集を見ながら合唱したり、用意したお茶菓子を持ち



楽しく!!  
サロンの芳野で

しかし、マスク着用の事もあり、ボランティア協会に依頼して派遣された方々のピアノとバイオリン・ギター・琴・尺八等の演奏・合唱隊・マジックショー等の運営で楽しんでいます。新年度より通常に戻しています。

(芳野町町会長 吉田 廣志)



寄った惣菜等を食べたりして楽しみで終わっていました。が、参加者よりもう少し何か楽しく終われないかの声を受けまして、「頭の体操面白トンクイズ」を10問出題して、皆さんから、「ナニ、ソレ」「エー」等の笑いがあつて終わっています。

コロナ禍の時期は一時中止を余儀なくされましたが、他町会の状況を参考にして、「飛沫防止シート」を作りテーブルに取付けて再開しました。

# 松南地区のできごと

5/22 お出かけウォーキング  
～山形村の清水寺～

▶新緑の中でリフレッシュ



5/19 ふれあい健康教室～Bellハミング～

▶演奏にうっとり



5/11 芝生DE 豚汁パーティー

▶おいしい豚汁をいただきました



6/29 信明中学校地域一斉清掃

▶地域をきれいに



6/4 軽スポーツの集い

▶楽しくスポーツを



6/4 開明小学校運動会

▶たくさん入れるよ



合唱を楽しんでおります。  
指導者は齋藤俊子先生、伴奏に山腰智佐美先生をお願いし、しっかりとしたご指導の下、声を揃えて歌う楽しさや美しさを根気よく教えてもらっています。

すみれ会は、長野県及び中信地区童謡唱歌の会に入会しており、秋にキッセイ文化ホールでのフェス、そして地域主催のなんなんフェスタ、



発足の当初は童謡唱歌を考える会だったようですが、今では懐かしい童謡唱歌から現代の話題曲まで幅広く

## さわやかに！ すみれ会

私たちすみれ会は、60歳代から80歳代の30数名のコーラスサークルです。すみれ会は、なんなんひろばの開館とともに発足し、30数年の長い間活動しています。

毎週木曜日。13時30分からなんなんひろばで練習しています。歌の好きな方、興味のある方、一度足を運んでみてください。一緒に歌いましょう。

(すみれ会代表 立石孝子)



コロナ禍で存続できなくなっている会もある中で、コロナ禍の前と変わらない人数で活動できる喜びをのみしめ、これからは私たちが健康のため、友だちづくりのため、大好きな歌のため、ひとつずつ目標は違いますが、人との繋がりを大切に歌い続けたいと思っています。

市内の他地区から20数年前に転入しましたが、地区・町会のことはほとんど知らずに過ごしてきました。この4月に町内公民館長に就任したことを契機に、あらためて地元のことを学んでみようと思いを決意し、あつたてて過去の刊行物などをネットで調べています。

そんな中、松本市の地区紹介のホームページにアップされている「松南地区のあゆみ」は、とてもわかりやすく興味深く拝見しました。「ここに古代の遺跡群があつて埴輪が出土していたなんて全然知りませんでした!!」

公民館報でも、地区の歴史や文化を学ぶ講座や行事が多数紹介されています。あらためて参加してみると新たな発見がたくさんありそうです。地区の歴史を知ること地元で愛着がわいてきますし、知らない方にも是非教えてあげたいですね。

(伊佐治修)

文化祭、ボランティア活動などに参加し、地域と密着しながら歌を楽しんできました。そんな時にはじまったコロナ禍、練習ができなかった辛い日々、再開した練習での不自然さ(マスク着用、ソーシャルディスタンス、空気の入替えなど)を乗り越えて今日に至っています。

## コラム松南

●どの地区にも  
確かな歴史がある！

